

IoTを活用した信州蕎麦の栽培実証実験プロジェクト

株式会社アルスター

所在地

松本市大字和田4020-25

資本金

4,000万円

従業員数

300名

主要事業

主に電気通信事業者向け
インフラ設備の設計・施工・保守

【我が社の強み・特徴】

長年、情報通信インフラの設計、施工、保守に携わってきた実績。

技術力・施工品質、県内6拠点、設備/人身事故=0

研究開発のポイント

【課題】

従来の事業に加えて、時代に合った業容拡大が必要である。インバウンド型の業務が主であったが、経営の持続性を考えた時、自社の能力を生かし、能動的に活動できる新たな事業への開発(チャレンジ)が必要であった。

【開発概要】

従来の業務の延長線上にあるIoTに着目し、IoTの“T”=“センサー”と位置づけ、センシング関連システムのビジネス(サービス)開発に取り組んだ。

主な開発成果

中山間地の圃場にて各種環境データ(映像含む)を取得するために、モバイル通信とソーラー電源等を組み合わせて、安定的にクラウドにデータ送信を行うシステムを構築した。

効果・展望

蕎麦に限らず、農作物を生産する上で必要となる、圃場の環境データを収集することで、経験や勘に頼ることなく、環境データを用いた農業が行える様に提案をしていく。若い営農者と共に持続可能な信州農業に貢献する。

協力体制

- ・株式会社かまくらや(ユーザー企業)
- ・(株)照栄通信
- ・東日本電信電話株式会社 営業戦略室

支援をうけて

IT開発プロジェクト支援事業負担金に係る負担金対象事業

電源・通信インフラが整わない圃場においても、負担金支援事業を受けて、農業に関する環境データが取得できるサービスの準備を整えることが出来た。今後は圃場へ設置後、システムや運用上の課題を検証していく。

